事業者向け　児童発達支援評価表

令和３年度　対象人数（職員）7 名　回答者数 7 名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		１人に対してのスペースとしては確保できている。休日等人数の多い日は部屋を分ける等配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			人員配置数は出来ている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		玄関・室内がバリアフリーになっている。玄関前にスロープがある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		毎日の会議の中で参画している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者様のご意向を把握し、改善に努めている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	現在第３者による評価は受けていない。今後検討して業務改善に努める。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		定期的に研修を行い、職員のスキルアップを目指している。オンラインで参加することのできる研修に参加し、学んでいる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			保護者様の要望をお聞きし、提供内容の計画を立てている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		コロナ渦の為対面の研修は受けられないが、zoom での研修を受講している。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			設定している。

	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			グループ活動での支援、個別での支援それぞれ行っている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		チームで意見を出し合い立案している。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		職員が交互にプログラムを組むことにより、固定化しないようにしている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7			状況に応じて、活動の割合を見ながら作成している。

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			職員間で、日々の様子を話し合いながら内容や役割分担を確認している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		送迎後、職員間で当日の内容の振り返りを行っているが、難しい場合は翌日朝に行うこともある。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		提供記録や業務日誌に、支援したことを記録し、今後の支援につながるように努めている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			職員間で情報を共有し、利用児に沿った支援をするように努めている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			参画しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			市の相談員との連携を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1		現在は対象児はいません。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7			必要時に合わせて整えている。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			必要時に合わせて図っている。

連携	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			必要時に連絡を取り合っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		連携を深め、助言や研修を受けている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	1	コロナ禍のため設けていない。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		1	市の協議会に加入し積極的に参加している。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時のフィードバックや連絡帳を介し、保護者との共通理解に努めている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	2		今のところ実施していないが、今後取り入れていきたい。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に時間の許す限り、丁寧に説明を行っている。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1		モニタリングを行い「児童発達支援計画」を作成、その後の説明をし、同意を得ている。
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者からの相談には、情報や理解を共有し、話しやすい雰囲気つくりをしている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	2	最近の社会情勢により開催出来ていないが、終息した際には実施したい。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			迅速かつ適切に対応するように心かけている。

	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月に一度通信を発行し、活動内容、連絡等を掲載している。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			保護者様に確認し、ご意向に合った対応を心がけている。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			配慮できるように努めている。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	1	現在は実施していないが、地域の災害研修には積極的に参加している。
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			契約時に対応マニュアルを配布し、周知に努めている。また避難訓練も定期的に実施している。
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に避難訓練を実施し、非常持出し用の内容を点検している。
	㊷	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			確認して、発作が起きた際の対応について等の研修を受けている。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		アレルギーの有無確認書を作成している。
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3		記録し職員間で共有し、今後の対応を設定している。
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		研修を受けて適切な対応を努めている。
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2		記載している。